

- 行政事業レビューシートの事例を中心に、事業を構成する具体的な活動ごとに政策効果の発現経路や適切な目標・指標の設定方法を整理し、「政策効果の測定のポイント」として令和5年12月に策定
- 今般、令和6年度 of 取組結果等を踏まえ、新たに「点検・改善」の考え方や事例を追加するなど内容の拡充を行い、「政策効果の測定と点検・改善のポイント」※として令和7年1月に改定

※ 本ポイントは、総務省公表「効果的な政策立案・改善に向けた政策評価のガイドライン」（令和7年1月改定）の第2部にも掲載
URL:https://www.soumu.go.jp/main_content/000935597.pdf

新たに蓄積した事例や知見

1. 政策効果の測定の知見が十分でない分野（拠出金・分担金、法執行事務）の取組を支援するため、内閣官房行政改革推進本部事務局とともに府省横断的ワークショップを実施
2. 令和6年に公表された各府省の行政事業レビューシートや公開プロセスにおける有識者の指摘事項等を基に、基礎的なEBPMを実践する上で参考となるポイントを整理、蓄積

改定の内容

1. 「府省横断的ワークショップの結果報告」（令和6年4月）等を踏まえ、各論の項目を拡充するとともに、これまで事業を構成する具体的な活動（広報・普及啓発、施設整備等）のみで分類していた各論を、事業の実施主体（国が直接実施する場合か否か）の観点も含め再整理
2. 各論の構成（実践の手順）として、「現状・課題の分析」（STEP1）や「ロジックモデルの構築」（STEP2）に加え、社会環境の変化に応じて政策を見直すダイナミック（動的）なEBPMを実践していくため、新たにSTEP3「点検・改善」として、事業実施の初期・中期といった事業フェーズの見極めの必要性や、そのフェーズに応じた「点検・改善」の事例等を新たに追加

- この他、総務省では、次のような専門的知見の提供により各府省のEBPMの実践を後押ししていくとともに、そこで蓄積された知見を各府省に提供
- 実証的共同研究で各府省の政策効果の把握・分析をサポート
 - 国内外のEBPM関係の先行研究に関する知見の整理・提供